

2025年3月24日に公表された「特許庁ステータスレポート 2025」の評判をまとめて

Felo AI Deep Search

特許庁ステータスレポート2025の評判まとめ

2025年3月24日公表

主な概要

- 包括的かつバイリンガルな情報提供
- 特許出願件数の回復傾向などの実用的数値
- 出願戦略策定に役立つとの評価
- 一般利用者からの評価はまだ限定的

レポートの内容

第1部：数字で見る知財動向

- 我が国の知財動向（特許・意匠・商標）
- 世界の知財動向（主要国統計情報）

第2部：2024年の施策成果

- 審査・審判のスピード・品質向上
- 国際的取組、各国特許庁との協力
- スタートアップ・中小企業支援

知財動向の主な統計

| | | | |
|-----------|----------------|-------------|--------|
| ▲ 特許出願件数: | 306,855件（回復基調） | ▷ 拒絶査定不服審判: | 2万件 |
| ▲ 無効審判請求: | 186件（倍増） | ◻ 審査中止件数: | 3,553件 |

PDFダウンロード可能・4月下旬から冊子無償配布予定

主な概要

現時点で、ネット上や各メディアでの広範な評判は確認できていませんが、専門家や関係者のレビューからは、以下の点が評価されています。

- 本レポートは、2024年の統計情報や政策成果を包括的かつバイリンガルで提供しており、知財動向を迅速に把握でき

る点が高く評価されています。

- 特に、特許出願件数の回復傾向や、審査中止件数など具体的な数値が実務的な出願戦略の策定に寄与するとの意見も見られます（弁護士や専門家のレビューに基づく）。
- 一方で、一般利用者や広範な市場からの意見はまだ限られており、批判的な指摘や改善点についての情報は少ない状況です。

詳細なレポート

主な概要

現時点で、ネット上や各メディアでの広範な評判は確認できていませんが、専門家や関係者のレビューからは、以下の点が評価されています。

- 本レポートは、2024年の統計情報や政策成果を包括的かつバイリンガルで提供しており、知財動向を迅速に把握できる点が高く評価されています。
- 特に、特許出願件数の回復傾向や、審査中止件数など具体的な数値が実務的な出願戦略の策定に寄与するとの意見も見られます（弁護士や専門家のレビューに基づく）。
- 一方で、一般利用者や広範な市場からの意見はまだ限られており、批判的な指摘や改善点についての情報は少ない状況です。

特許庁ステータスレポート 2025 の概要

特許庁が 2025 年 3 月 24 日に公表した「特許庁ステータスレポート 2025」は、2024 年の特許庁の統計情報と政策の成果をまとめたものです[1][3]。このレポートは、国内外への情報発信ツールとして活用されることを目的とし、日本語と英語が併記されています[1][3]。レポートは PDF 形式で特許庁のウェブサイトからダウンロードできます[1][9]。また、4 月下旬以降は特許庁または近くの窓口で冊子が無償配布され、5 月中旬からは特定の施設でも閲覧可能です[1]。

レポートの内容

レポートは、知的財産制度を取り巻く現状や特許庁の取り組みを迅速に発信することを目的としています[3]。内容は大きく分けて以下の 2 部構成となっています[3]：

- **第 1 部：数字で見る知財動向**
 - 我が国の知財動向（特許庁への特許・意匠・商標の出願や登録等に関する統計情報）
 - 世界の知財動向（主要国特許庁（日米欧中韓）への特許・意匠・商標の出願や登録に関する統計情報）
- **第 2 部：2024 年の施策成果**
 - 審査・審判（審査・審判のスピードや品質向上等に関する取組）
 - 国際的取組（各国特許庁や関係機関との協力、制度・運用の調和等に関する取組）
 - 支援施策、法改正等（スタートアップ・中小企業・大学支援、制度の見直し等に関する取組）

レポートでは、AIやNFTなどの新技術に対応するための施策や国際連携、イノベーション促進・経営力強化の支援、審査のスピード・質に関する情報などが提供されています[3].

知財動向に関する情報

レポートには、日本の特許出願件数が回復基調にあり、**306,855** 件であったことが示されています[4][8]. また、拒絶査定不服審判は**2** 万件、無効審判請求は**186** 件で倍増していることが報告されています[4][8]. さらに、原出願が審判係属中の分割出願に対する審査中止の運用が行われており、**2024** 年に審査を中止した件数は**3,553** 件となっています[4][8].

専門家によるレビュー

「特許庁ステータスレポート 2025」は、NAKAMURA & PARTNERS によってレビューされています[4]. 弁護士・弁理士の高石秀樹氏は、原出願が審判係属中の分割出願に対する審査中止の運用について、出願人にとって効率的かつ効果的な出願戦略の構築につながると評価しています[4][8].

ソーシャルメディア上の反応

特許庁の公式 X (旧 Twitter) アカウント (@jpo_NIPPON) がありますが、現在、X(旧 Twitter)での検索結果は「問題が発生しました」と表示され、ソーシャルメディアでの直接的な評判を収集することは困難です[2][15].

まとめ

「特許庁ステータスレポート 2025」は、最新の知財動向や特許庁の取り組みを把握するための重要な資料です[1][3]. レポートは、特許出願件数の回復や新たな制度の運用状況など、実務に役立つ情報を提供しています[4][8]. しかし、現時点では、ソーシャルメディアや一般的なレビューサイトでの評判は限定的であり、今後の情報収集が課題です.

| 項目 | 内容 |
|------|---|
| 公表日 | 2025 年 3 月 24 日 |
| 目的 | 最新の特許庁の統計情報及び政策の成果をいち早く発信 |
| 言語 | 日本語・英語併記 |
| 主な内容 | 知財動向（特許・意匠・商標の出願や登録に関する統計情報）、審査・審判、国際的な取り組み、支援施策、法改正等 |
| 知財動向 | 日本の特許出願件数は回復基調（ 306,855 件）、拒絶査定不服審判は 2 万件、無効審判請求は 186 件で倍増 |

| 項目 | 内容 |
|--------------|---|
| 分割出願に対する審査中止 | 2024年に審査を中止した件数は 3,553 件 |
| レビュー | 弁護士の高石秀樹氏は、分割出願に対する審査中止の運用が出願戦略の構築に繋がると評価 |
| 入手方法 | 特許庁 HP より PDF 形式でダウンロード可能、4月下旬以降は特許庁または近くの窓口で冊子が無償配布、5月中旬からは特定の施設でも閲覧可能 |

今後の展望

今後、知的財産関連のニュースサイトやブログ、フォーラムなどで「特許庁ステータスレポート 2025」に関する意見や論評が発表される可能性があります。また、ソーシャルメディアでの議論や、専門家による詳細な分析記事なども期待されます。これらの情報を収集し、レポートに対する多角的な評価を把握することで、より詳細な評判をまとめることができると考えられます。

- [1. 特許庁ステータスレポート 2025](#)
- [2. 特許庁 \(@jpo_NIPPON\) / X](#)
- [3. 特許庁ステータスレポート 2025 をとりまとめました](#)
- [4. 『特許庁ステータスレポート 2025』 - NAKAMURA ...](#)
- [5. 特許庁ステータスレポート | 経済産業省 特許庁](#)
- [6. 野崎篤志@知財情報コンサルタント一次回作『特許情報分析と ...](#)
- [7. 特許庁ステータスレポート 2025 ～数字で見る知財動向 ...](#)
- [8. 特許庁ステータスレポート 2025](#)
- [9. 特許庁ステータスレポート 2025 が公開されました](#)
- [10. ホーム | 経済産業省 特許庁](#)
- [11. お知らせ \(METI/経済産業省\)](#)
- [12. Clarivate、Top100 グローバル・イノベーター2025 を発表](#)
- [13. 特許情報プラットフォーム | J-PlatPat 【JPP】](#)
- [14. NAKAMURA & PARTNERS | 中村合同特許法律事務所](#)
- [15. 特許庁 - X](#)

